

松山地方検察庁今治支部へ告訴状を提出（2018.3.9）に至る経緯及び理由

2018.3.20

今治市民ネットワーク

はじめに

今治市は 2015.4.2 に首相官邸訪問から内部では隠密に、しかしながら、誇らしげに潜行して国家戦略特区事業として進めてきた。公平公正であるべき行政において隠蔽、偽造、ペテンでしか加計学園獣医学部開学を進めることはできなかった。行政、議会が結託をして今治市の財産を私学に渡そうとする問題である。その過程で今治市は刑法に触れるまでに至った。公文書の捏造の目的・原因は、「加計ありき（安倍首相と加計孝太郎氏の関係）」隠しに今治市も共謀していたことにある。

1. 今治市への情報開示請求で2つの「2015.6.5 の国家戦略特区WGヒアリング出席の復命書（出張報告書）」の存在があきらかになった。
2016年12月6日に部分開示されたものは、その内容部分はそのほぼ全てが黒塗りである。2017年6月2日に全部開示されたものは、内容部分が2ページ少なくなっていた。
2. 同じ作成日（2015.6.8）の復命書を新たに作り替えた理由は 2017年3月6日に内閣府が2015.6.5のWG議事要旨を公表するので確認するようにとのメールがあったため。
3. 作り替えた理由は、内閣府がWG議事要旨を公開するに伴い、WG議事要旨には書かれていない加計学園関係者に関する記述を、一つ目から削除して今治も公開できるようにするためであった。
4. 2017年3月に2015年6月8日起案日の復命書を作成するにあたって、「理由メモ」を付して供覧印を得る、組織ぐるみの偽造公文書作成であった。「理由メモ」は既に破棄。
5. 両文書とも今治市情報公開条例（定義）第2条が定める「実施機関において決済又は供覧の手続きが完了し、現に管理している」との公文書の要件を満たしている。
6. 今治市は当該文書をホームページ等で公開してはいない。情報開示請求があつて初めて開示される文書である。
7. 作り替えた公文書は2017.6.2に今治市長公印の公文書開示決定通知書で開示された。
8. 以上の事実から刑法第166条偽造公文書作成の罪及び刑法第168条偽造公文書作成行使の罪に該当することから、検察に告訴した。

「今治市民ネットワーク」<http://siminnet.starfree.jp/index.html>

の「リンク」から をクリック、またはTwitterで 村上治 を検索いただき、3月10日のURLをクリックください。告訴状関連資料をUPしています。

今治市の公文書改ざんの告訴状を検察に提出しました 今治市民ネットワーク

検察庁提出日 2018年3月9日 松山地方検察庁今治支部
(現在提出のみで、受理されるかどうかは未定)

理由

当会が今治市に情報公開請求し開示された公文書から、今治市が公文書を書き換えていることが明らかになりました。

当会はこれまで、このことを問題視し、2017年11月28日には、市議会(国家戦略特区特別委員会)に提出した「請願書」の中でも触れてきました。しかし、ろくに審議もせず不採択としました。

この改ざんの問題は見過ごすことは出来ないもので、これらの罪を犯した菅良二今治市長以下、供覧箋に押印し、かかわった被告訴人を検察に告訴いたしました。

検察がこれをさらに無視するようなことがあれば倫理的に許されず、行政運営への私たちの信頼は失われてしまいます。

何が書き換えられたのか？

改ざんが見つかったのは、今治市の職員が2015年6月5日に国家戦略特区のワーキンググループ(WG)委員によるヒアリングを受けるため、内閣府へ出張した時の報告書(復命書)。

市の職員服務規程では、出張者が帰庁した場合は速やかに出張内容を報告することになっており、同8日付で菅良二市長あてに復命書が作成された。

内閣府が2017年3月6日にWGヒアリング議事要旨を公表するに際して内閣府から「確認メール」が届いており、今治市企画課はその意向に沿うように書き換えた公文書を作成し、それをその後の情報開示に用いました。

- ① 2016年12月6日に情報公開請求で部分開示された2015年6月8日付のもの
- ② 2017年6月2日に情報公開請求で全開示された2015年6月8日付のもの

同じ日付の復命書が2種類あることになる。

その書き換えは、単なる、議事要旨の公表に際して、聴き取り間違いやニュアンス間違いを正したという程度ではなく、出席者や発言内容までも削除、改変したものであり、改ざんにあたるものです。

※ 15年6月5日の国家戦略特区WG委員によるヒアリングとは

今治市が初めて官邸に招かれた2015年の4月2日(内容は非公開)から2カ月後の6月5日に、「国会戦略特区諮問会議WG委員によるヒアリング」が開かれ、ここで今治市は国際水準の獣医学特区であるという提案をした。今治市は以前の構造改革特区での提案を諦めて、国家戦略特区での提案に切り替えたことをこの日公式に明らかにした。

この報告書の隠された黒塗り部分の内容は何でしょう

2018年2月3日、今治で行われた講演会「前川喜平氏 加計学園獣医学部問題を語る」で、前川さんは次のように話されている。

「しかしこのWG会議には加計学園の担当者も同席していたことがわかった。これはずっと隠

されていたが、後に内閣府は認めました。しかし、それは公式な立場ではなく、説明補助者という立場であって、公式な立場ではないのでその発言は記録していませんと言っている。

…でも実際には、WGの委員と加計学園の方との間のやりとりがあったはず。おそらく、これは私の推測ですが、加計学園に「新しい獣医学部で教員を確保する見通しは立っているのか」というような質問があって、「ちゃんと教員は確保できる見通しです」と、まあこのようなやり取りがあったらと思う。

…しかしそれは議事要旨にも議事録にも出てこない(出せない)訳です。何故かという、まだ加計学園は事業者として決まっていない。事業者として決まっていない者が出てきて、教員は揃っていますというのはおかしい。だから隠されている…」

今治市の復命書の中には、本来あってはならないこと(事業者選定において公正・公平ではない、加計学園ありき)が書かれている。

「確認メール」が「内閣府」から今治市にあり、市は、内閣府が作った「WGヒアリング議事要旨(2017.3.6)」に沿った復命書に書き替えることを選択してしまったのです。

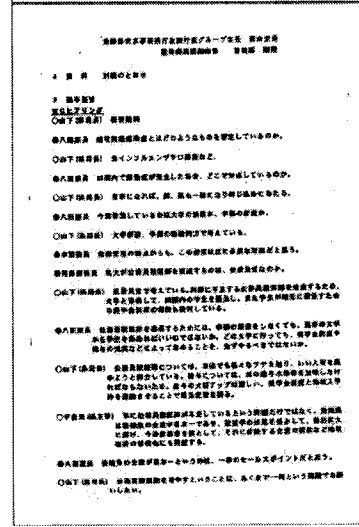
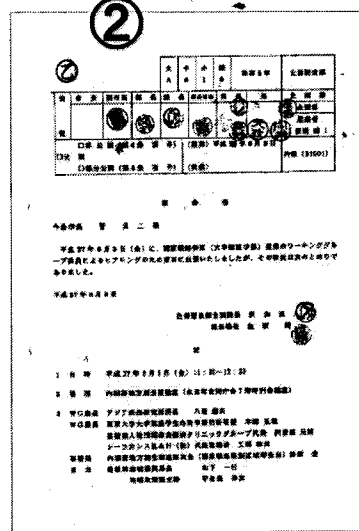
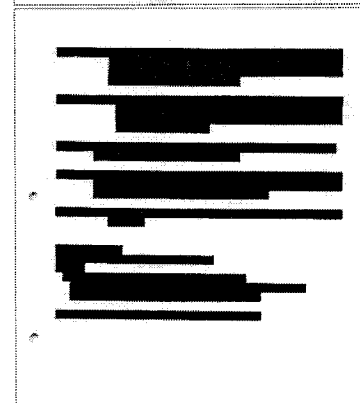
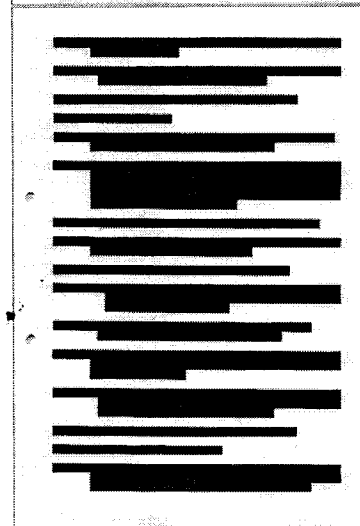
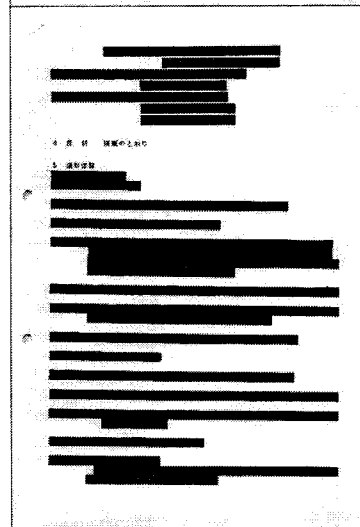
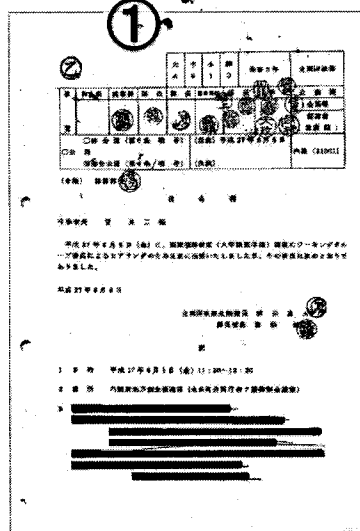
右図②文書について、今治市は、文春オンラインの取材に対して「内閣府からの確認作業に基づき、過去に部分開示決定を行った復命書について内容を精査し、聞き取り間違いやニュアンス間違いを正し、古いものとセットで、同日付で書類作成し、保管していたものです」(3.14 配信)と答えている。

今治市の言に従えば、本来は「古いものとセット」で右図①②の両復命書を開示するべきである。

「今治市民ネットワーク」

<http://siminnet.starfree.jp/index.html>

E-mail: imabari77-siminnet@yahoo.co.jp



今治市が作成した 国家戦略特区WG の出張復命書

- ① 2016年12月6日に部分開示されたもの 左
- ② 2017年6月2日に全開示されたもの 右

2018年3月20日

財務大臣 麻生太郎 様
会計検査院長 河戸光彦 様

森友文書改ざん疑惑の徹底究明と麻生財務相の辞任等を 求める申し入れ

森友・加計問題の幕引きを許さない市民の会
森友学園問題を考える会
今治加計獣医学部問題を考える会

市民からの情報公開請求を通じて、佐川理財局長（当時）らが廃棄したと繰り返し答弁してきた森友学園への国有地売却をめぐる交渉関連記録が存在したことを裏付ける資料が次々と明るみに出ました。さらに、今般、国会に提出された森友関連文書に「書き換え」があったとの報道まであらわれ、政府・財務省はこれを否定できない状況になっています。ここに至って、政府、財務省の説明に対する国民の不信感は一歩も引かず、頂点に達しています。

また、会計検査院が国会の要請を受けて、森友学園へ国有地を売却した経緯（特に約8億円もの値引きがされた経緯）を調査した際、財務省は期日までに検査に必要な資料を提出しなかった事実も国会審議の中で明らかになりました。こうした財務省の対応は故意または重大な過失による検査妨害と受け取られても致し方ないものであり、「会計検査院法」第31条第2項で定められた懲戒処分請求の対象になり得るものと考えられます。

そこで、私たち3団体は貴職に対し、次のことを申し入れます。すみやかに真摯に対応されるよう強く要求します。

申し入れ

1. 麻生財務大臣宛て

- (1) 国会に提出された森友関連文書に改ざんといえる「書き換え」がなかったのか、第三者が参加する公正中立な形で徹底した調査を行い、その結果をすみやかに国会に報告するとともに国民に公表すること。
- (2) 「部下の報告を信頼する」と語って国民の7割以上が求めてきた疑惑の解明を放置した自らの責任を取って麻生大臣は辞任すること。

2. 河戸会計検査院長宛て

貴院の検査に真摯に応じず、検査妨害とみなされても致し方ない対応をした財務省職員（佐川宣寿氏の国会での虚偽答弁を含む）を「会計検査院法」第31条第2項に従って懲戒処分するよう麻生財務大臣に請求すること。

私は上記の申し入れに賛同します。

氏名	住所

署名の第一次集約日は3月19日（月）です。署名用紙は下記へお送りください。

〒134-0083 江戸川中葛西五郵便局局留 視聴者コミュニティ 渡邊 力 宛て

取扱い団体 「森友・加計問題の幕引きを許さない市民の会」

連絡窓口（メール）：morikakesimin@yahoo.co.jp（電話）：070-4326-2199（10時～20時）

* ネット署名は短縮 URL <http://bit.ly/2G7hvZR> の〈以下はネット署名です〉のところに記入し「送信」をクリックしてください。メッセージもお願いします。